

ニセコビーナスの丘 山行記録

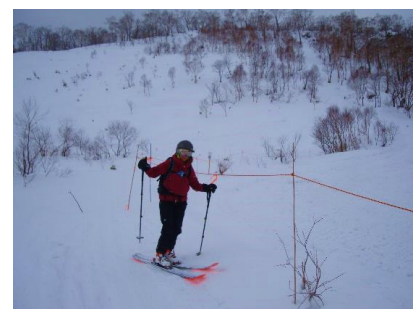
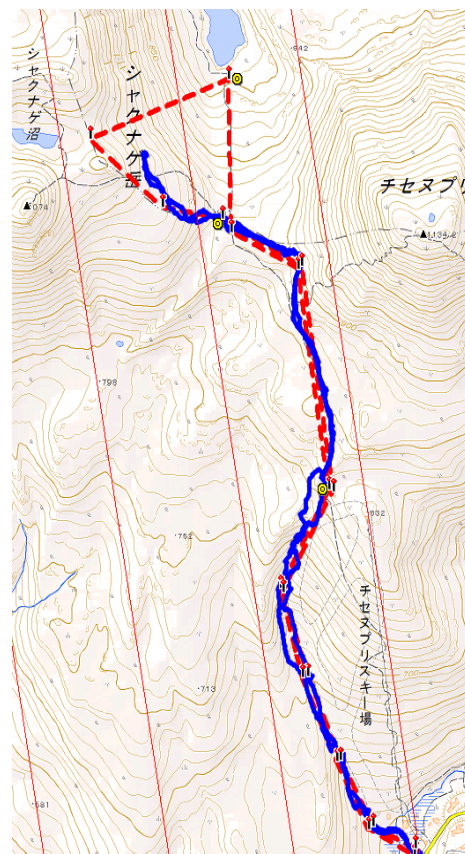
山行日 令和2年2月15日(土)
 天候 曇り、一時晴れ、時々小雪
 参加者 小山内L、澤田SL、笹山、太田、西田、
 山行形式 スキー

〔記 録〕

当初の冬山スケジュールでは「カルルス加車山からオロフレ山縦走」であったが、今冬の雪不足で、山はまだ「笹の山」状態の事から、比較的雪があるというニセコビーナスの丘へ変更となった。

参加予定のNAさんが風邪で、濃厚接触を避けたいとの事で欠席となり5人、車一台、少数精鋭でのスキー山行となった。

- 6時30 (発) 伊達道の駅→豊浦・新富→蘭越→パノラマライン→旧チセヌプリスキー場駐車場
 途中の道路にはほとんど雪が無く春山スキーに行く気分だった。
- 8時05 (着) 登山口となる旧スキー場は2013年に閉鎖になってから7年、建物は崩壊し始めていた。コースには雪上車によるCATスキーの為進入禁止の看板とロープが張られており、その縁を沿って登る。
- 8時30 (登開始) ゲレンデを右手に見ながら尾根沿いに高度を上げて、リフト降り場台地に向かう。トレースが沢山あり、硬いわだちで歩きづらい。(下山時はスキーをとられ転倒者続出) 尾根を登りきるといつもの夏道に出る。チセの麓を回り途中の沢上部の雪庇も今年は小さく問題なく渡り、シャクナゲ、長沼の分岐に向かう。途中の雪面はアイスバーンと新雪の所がまだら状になっている。「スキー滑走には危ないな〜!」「目の前は白い丘、上はフカフカ雪かも? 登ってみよう」とシャクナゲの科尔めがけて登る。
- 10時35 (945m) 登り斜面、更に風にたたかれて、凹凸になっている。科尔下945m地点、長沼が見える所まで登り、リーダー会議で、ここまでで退却を決めた。薄曇りながら風は無し、絶好のスキー日和なのに残念。ビーナスは微笑んでくれませんでした。次回の楽しみに取っておきますか。こんな状態なので、帰りの滑走は安全第一で下りる。(全員一回以上転倒した)
- 12時00 (登山口着)



立入禁止のロープ、この縁を登る



チセヌプリ積雪半分位か?



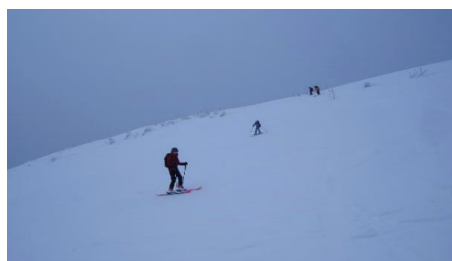
岩峰下940m撤退地点



長沼への斜面、ブッシュ出ている



全員苦勞しました デコボコに



ビーナスの丘絶好斜度 ただ雪が...

久しぶりのビーナスの丘
 無名峰からの息も出来ない位の
 パウダー滑走を期待したが残念。
 次回の楽しみにとっておきます
 リーダ今年の山行本当に大変
 です。ありがとうございました。

(記 西田)